

令和6年度
定期監査結果報告書

八幡浜地区施設事務組合

八幡浜地区施設事務組合監査委員

目 次

定期監査結果報告	1
一般会計 (事務局)	2
消防事業特別会計 (消防本部及び消防署)	4
一次救急休日・夜間診療所事業特別会計 (一次救急休日・夜間診療所)	9
特別養護老人ホーム事業特別会計 (特別養護老人ホーム青石寮)	12
し尿処理事業特別会計 (し尿処理施設一楽園)	15

定期監査結果報告

- 1 監査の対象 八幡浜地区施設事務組合
- 2 監査の月日 令和6年8月8日
- 3 監査場所 八幡浜市役所（八幡浜庁舎）監査事務局
- 4 監査を行った者 監査委員 若宮高治
同 末光勝幸

5 監査の方針

令和5年度の財務に関する事務の執行及び経営に係わる事業の管理について資料の提出を求めて事情を聴取して監査を行い、必要により、事務又は長の権限に属する事務の執行についても監査を行った。

6 監査の結果及び意見

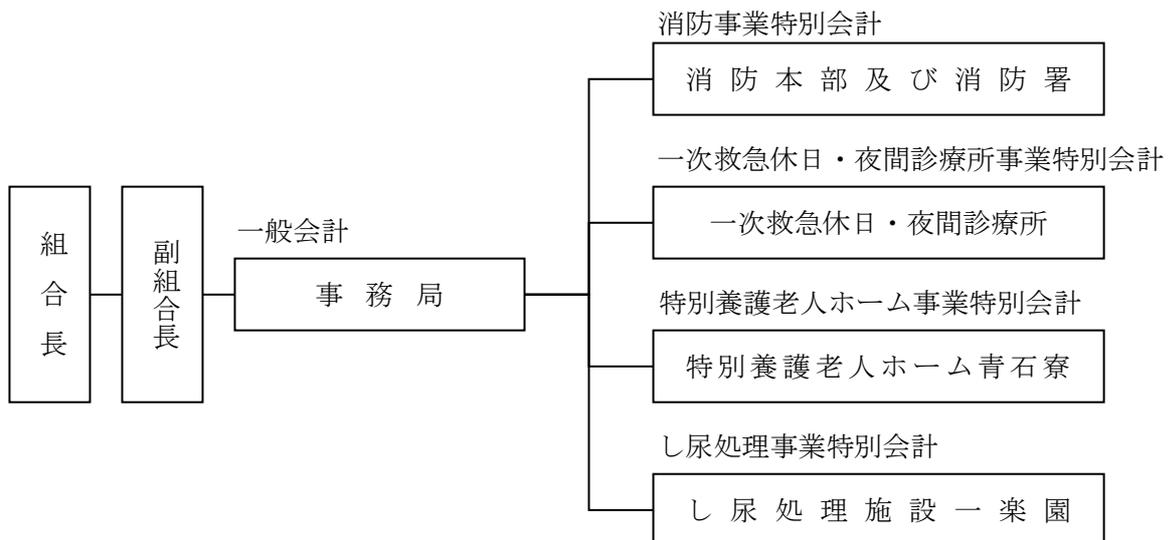
(1) 八幡浜地区施設事務組合の組織の概要

令和6年8月1日現在における当組合の組織構成は次表のとおりとなっており、会計は事務局が所管する一般会計と4つの各事業に特別会計を設けて処理している。

職員数は条例定数175名に対し、専任職員147名の他、会計年度任用職員フルタイム17名、パートタイム29名、計193名（併任、嘱託を除く）となっている。

また、会計管理者、監査委員の補助事務は、八幡浜市の当該部署の事務局職員に委嘱しており、公平委員会事務は県へ委託している。

各会計についての監査結果及び意見は次のとおりである。



一 般 会 計

(事 務 局)

(1) 職員の配置と事務分掌

現在、事務局職員は2名で、組合議会、組合職員、各施設の連絡調整に関する事務を行っている。



(2) 予算の執行状況

ア 歳入・歳出

令和5年度の八幡浜地区施設事務組合一般会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額24,023,000円、調定額、収入済額ともに24,061,124円（執行率100.2%）、支出済額23,423,293円（執行率97.5%）であって、収支差引額は637,831円の黒字となっている。

収入の大部分を占める負担金は、関係市町の協力により計画的に納付されており、資金操作はスムーズに行われている。

また、負担割合は均等割50%、人口割50%である。

令和5年度 一般会計予算執行状況表（令和6年5月31日現在）

(歳入)

(単位：円)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率(%)	徴収率(%)
1 分担金及び負担金	22,759,000	22,759,000	22,759,000	0	100.0	100.0
2 繰越金	1,109,000	1,109,728	1,109,728	0	100.1	100.0
3 諸収入	155,000	192,396	192,396	0	124.1	100.0
合 計	24,023,000	24,061,124	24,061,124	0	100.2	100.0

(歳出)

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
1 議会費	281,000	190,831	90,169	67.9
2 総務費	23,742,000	23,232,462	509,538	97.9
合 計	24,023,000	23,423,293	599,707	97.5

歳入歳出差引額	637,831
---------	---------

イ 給与支払事務

当組合職員に係る給与支払事務は事務局（一次救急休日・夜間診療所、し尿処理施設一楽園を含む。）、消防本部（消防署）及び特別養護老人ホーム青石寮で行っており、源泉徴収する所得税、市町県民税、共済組合掛金等は給料支払日に徴収し、関係機関へ納付している。

なお、令和5年度の人件費の支払額は1,235,902,532円、源泉徴収の額は208,286,645円であり、その会計別内訳は次表のとおりである。

人件費の内訳

(単位：円)

区分	一般会計	消防事業 特別会計	一次救急休 日・夜間診 療所事業特 別会計	特別養護老 人ホーム事業 特別会計	し尿処理 事業特別 会計	合 計
報酬支払額	214,294	1,829,568	47,529,316	23,639,860	0	73,213,038
議員報酬	167,120	0	0	0	0	167,120
組合長等二役報酬	28,000	0	0	0	0	28,000
監査委員報酬	19,174	0	0	0	0	19,174
医師・委員等報酬	0	0	37,035,800	3,267,000	0	40,302,800
会計年度任用職員報酬	0	1,829,568	10,493,516	20,372,860	0	32,695,944
職員給	15,423,030	670,528,617	7,607,035	238,047,993	2,532,800	934,139,475
給料	9,456,600	415,649,478	4,704,600	151,456,120	2,025,600	583,292,398
職員手当等	5,966,430	254,879,139	2,902,435	86,591,873	507,200	350,847,077
共済費等	3,210,067	140,209,232	1,671,605	50,932,593	541,903	196,565,400
退職金 (退職手当組合負担金)	0	23,782,764	0	7,853,555	0	31,636,319
職員互助会負担金	0	348,300	0	0	0	348,300
災害補償費	0	0	0	0	0	0
合 計	18,847,391	836,698,481	56,807,956	320,474,001	3,074,703	1,235,902,532

源泉徴収の内訳

(単位：円)

区分	一般会計	消防事業 特別会計	一次救急休 日夜間診療所 事業特別会計	特別養護老 人ホーム事業 特別会計	し尿処理 事業特別 会計	合 計
市町・県民税	624,500	26,938,200	508,200	8,880,000	69,800	37,020,700
所得税	388,162	17,098,260	1,630,081	5,102,840	33,200	24,252,543
共済・互助会掛金 (個人負担分)	2,472,036	106,302,960	1,261,316	36,615,535	361,555	147,013,402
合 計	3,484,698	150,339,420	3,399,597	50,598,375	464,555	208,286,645

(3) 経理事務

経理事務については、予算整理票、調定簿、徴収簿等を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

(4) 備品管理

備品を備品台帳と照合(摘出法)したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

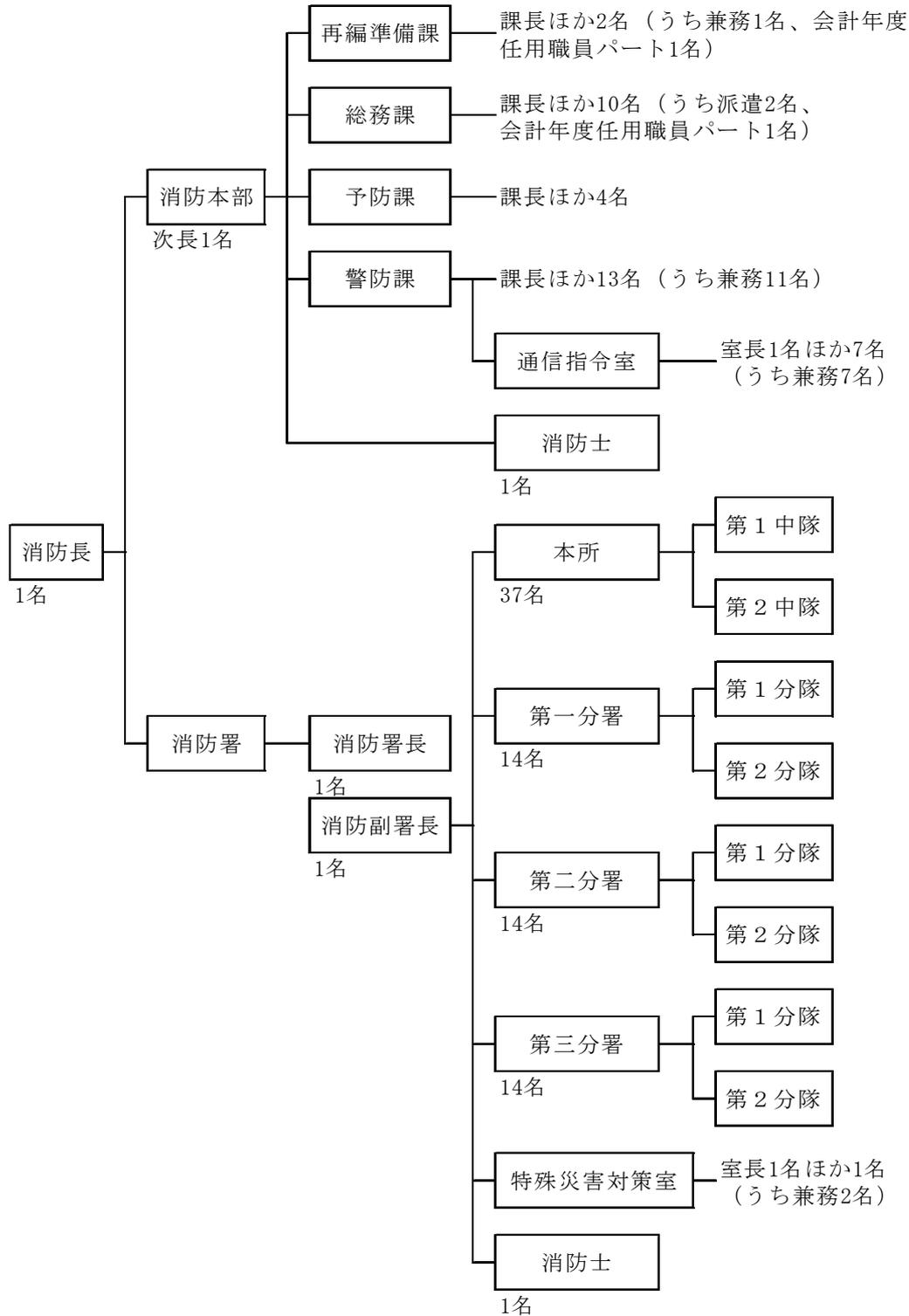
(5) 監査の結果

事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

消防事業特別会計 (消防本部及び消防署)

(1) 職員の配置と事務分掌

令和6年8月1日現在における職員数は107名(会計年度任用職員パート2名を含む)で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	会計年度任用職員(パート)	計
1名	6名	16名	43名	14名	9名	15名	1名	2名	107名

(2) 予算の執行状況

令和5年度の消防事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額 1,042,552,000 円、調定額、収入済額ともに 1,043,644,192 円(執行率 100.1%)、支出済額 1,016,496,998 円(執行率 97.1%)であって、収支差引額は 27,147,194 円の黒字となっている。

支出のうち主なものは、職員等の人件費 836,698,481 円(構成比 91.1%)である。

なお、各市町の負担割合は、地方交付税法第 11 条の規定により算出される関係団体の当該年度の消防費にかかる基準財政需要額割とされており、今年度のその内訳は八幡浜市 54.00%、伊方町 29.20%、西予市(旧三瓶町) 16.80%である。

令和5年度 消防事業特別会計予算執行状況表(令和6年5月31日現在)

(歳入)

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率(%)	徴収率(%)
1 分担金及び負担金	1,012,363,000	1,012,363,000	1,012,363,000	0	100.0	100.0
2 使用料及び手数料	458,000	418,750	418,750	0	91.4	100.0
4 県支出金	4,669,000	4,761,915	4,761,915	0	102.0	100.0
5 繰越金	19,248,000	19,248,620	19,248,620	0	100.0	100.0
6 諸収入	9,994,000	11,031,907	11,031,907	0	110.4	100.0
合計	1,046,732,000	1,047,824,192	1,047,824,192	0	100.1	100.0

(歳出)

款項目	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
1 常備消防費	938,052,000	918,608,770	19,443,230	97.9
うち人件費	846,977,000	836,698,481	10,278,519	98.8
2 消防施設費	106,680,000	97,888,228	8,791,772	91.8
3 予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0
合計	1,046,732,000	1,016,496,998	30,235,002	97.1

歳入歳出差引額	31,327,194
---------	------------

(3) 業務実績

ア 予防業務

令和6年3月31日現在、消防用設備等を必要とする防火対象物数は 1,756 件であり、令和5年度(4~3月)において 444 件の査察を行った。

イ 警防業務

令和6年4月1日現在の主要な現有設備及び機材の状況は次表のとおりである。

		設備及び機材の内容				令和6年4月1日現在					
消防ポンプ及び車両	【本署】	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ車（1,500ℓ水槽・薬剤装置付）1台 ・小型動力ポンプ付水槽車（6,000ℓ水槽）1台 ・ポンプ車（700ℓ水槽・薬剤装置付）1台・山林火災活動車1台・軽資機材搬送車1台 ・救助資機材搬送車1台・水路付先端屈折式はしご車（ポンプ付）1台 ・救助工作車（ウインチ・クレーン照明付）1台・水難救助車1台・指揮車1台 ・救急車（高規格）2台・査察車1台・災害時消防活動二輪車2台・予備救急車1台 ・支援車1台・重機搬送車（クレーン・重機積載装置）1台・重機1台（国からの無償貸与） 									
	【第一分署】	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ車（700ℓ水槽付）1台・救急車（高規格）1台・広報車1台 ・災害時消防活動二輪車1台 									
	【第二分署】	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ車（700ℓ水槽付）1台・救急車（高規格）1台・広報車1台 ・災害時消防活動二輪車1台 									
	【第三分署】	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ車（700ℓ水槽付）1台・救急車（高規格）1台・広報車1台 ・災害時消防活動二輪車1台 									
	【原子力防災用】 県から無償貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロバス1台・防災要員・弱者搬送車1台・広報車1台 ・資機材搬送トラック1台・資機材搬送車1台 									
	救助用器具	三連はしご5台、空気式救助マット2個、救命索発射銃2台を含む83点の救助用器具									
	消火用器具	ホース（50mm）189本、ホース（65mm）171本を含む457点の消火用器具									
保護用器具	耐電手袋12点、耐電長靴9点を含む38点の保護用器具										
水難救助用器具	潜水器具11器、水中投光器12器を含む42点の水難救助用器具										
測定用器具	<ul style="list-style-type: none"> ・可燃性ガス測定器1台・有毒ガス測定器1台 ・複合型ガス測定器5台 										
泡消火薬剤	<ul style="list-style-type: none"> ・水成膜消火薬剤1.20kl ・クラスA泡消火剤0.39kl 										
緊急援助隊用具	<ul style="list-style-type: none"> ・野営資機材一式2セット 										
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・投光器15台・発電機17台・レーザー距離計4台 ・災害用パソコン2台・災害用エアertent4張 										
無線関係	種別 配備	基地局	固定局	無線LAN	陸上移動局						合計
					デジタル			アナログ			
					車載	携帯	半固定	車載	携帯	署活系無線	
	本署		1	1	19	15	1	19	1	46	103
	第一分署				3	3	1	3		7	17
	第二分署				3	3	1	3		7	17
	第三分署				3	3	1	3		7	17
	布喜川基地局	1	1	1							3
	堂々山基地局	1	1								2
伽藍山基地局	1	1								2	
合計	3	4	2	28	24	4	28	1	67	161	

ウ 火災の状況

令和5年中(1~12月)の出火件数は23件(前年21件)、損害見積額は82,629千円(前年10,226千円)である。

火災の内訳を種類別で見ると、建物火災11件(前年10件)、林野火災2件(前年4件)、車両火災2件(前年0件)、船舶火災1件(前年1件)、その他7件(前年6件)であり、罹災者は6世帯10名(前年6世帯12名)である。

エ 救急業務

令和5年中(1~12月)における救急業務の活動状況は、次表のとおりであり、救急車は高度に利用されていることが認められた。

出場の状況を種類別に見ると、主なものは急病1,593件(構成比62.3%)、一般負傷530件(構成比20.7%)、交通事故109件(構成比4.3%)となっている。

(単位：人・件)

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転送搬送	医師搬送	資機材搬送	その他	
八幡浜市	出場計数	4		1	79	4	5	355	4	2	1,137	242			4	1,837
	搬送人員	4			69	3	4	305	4	2	936	242				1,569
伊方町	出場計数		2	3	23	1		121		7	298	22				477
	搬送人員		2	2	23	1		110		4	257	22				421
西予市 (旧三瓶町)	出場計数			1	7	2	3	54		1	158	14			1	241
	搬送人員				7	2	3	50		1	142	14				219
その他 (管轄外)	出場計数															0
	搬送人員															0
合計	出場計数	4	2	5	109	7	8	530	4	10	1,593	278	0	0	5	2,555
	搬送人員	4	2	2	99	6	7	465	4	7	1,335	278	0	0	0	2,209

オ 救助業務

令和5年中(1~12月)における事故種別の救助業務の活動状況は、次表のとおりである。

出動の状況を事故別に見ると、火災0件(構成比0.0%)、交通事故9件(構成比42.9%)、水難事故6件(構成比28.6%)、自然災害0件(構成比0.0%)、機械による事故2件(構成比9.5%)、建物による事故0件(構成比0.0%)、その他4件(構成比19.0%)となっている。

令和5年 事故種別救助活動状況

	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	その他	合計
出動件数	0 件 0.0%	9 件 42.9%	6 件 28.6%	0 件 0.0%	2 件 9.5%	0 件 0.0%	4 件 19.0%	21 件 100.0%
活動件数	0 件 0.0%	4 件 26.7%	5 件 33.3%	0 件 0.0%	2 件 13.3%	0 件 0.0%	4 件 26.7%	15 件 100.0%
救助人員	0 人 0.0%	4 人 26.7%	5 人 33.3%	0 人 0.0%	2 人 13.3%	0 人 0.0%	4 人 26.7%	15 人 100.0%

※下段は構成比である。

(4) 経理事務

経理事務については、予算整理票、調定簿、徴収簿等を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

(5) 備品管理

備品を備品台帳と照合(摘出法)したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

(6) 監査の結果

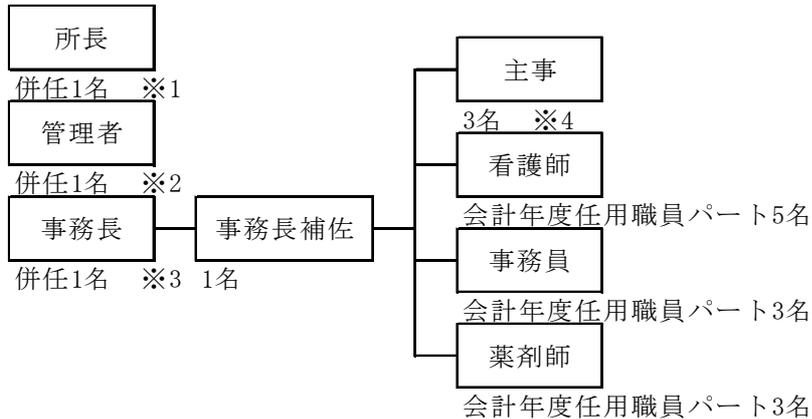
事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

一次救急休日・夜間診療所事業特別会計 (一次救急休日・夜間診療所)

(1) 職員の配置と事務分掌

当施設は、休日及び夜間における地域住民の応急医療を行うため、八幡浜医師会を始め各方面の協力を得て、昭和54年4月に市立八幡浜総合病院内に開設し、昭和59年4月からは当施設の設置、管理及び運営に関する事務を当組合で処理している。

なお、令和6年8月1日現在、職員数は18名（併任3名、市立八幡浜総合病院との併任3名、会計年度任用職員パート11名を含む）で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



- ※1 八幡浜市副市長がその職にあたっている。
- ※2 八幡浜医師会長がその職にあたっている。
- ※3 八幡浜地区施設事務組合 事務局長が併任
- ※4 市立八幡浜総合病院 事務局職員が併任

(2) 予算の執行状況

令和5年度の一次救急休日・夜間診療所事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額95,329,000円、調定額、収入済額ともに104,542,245円（執行率100.0%）となっている。

支出済額は91,152,703円（執行率95.6%）であって、収支差引額は13,389,542円の黒字となっている。

支出の内容は、嘱託医及び職員の人件費56,807,956円（構成比62.3%）とその他運営費34,344,747円（構成比37.7%）である。この運営費のうちには施設設備管理委託料2,000,000円（構成比2.2%）、空床確保負担金27,000,000円（構成比29.6%）の市立八幡浜総合病院への支出経費も含まれている。

なお、各市町の負担割合は八幡浜市75.4%、伊方町12.6%、西予市（旧三瓶町）12.0%となっている。

令和5年度 一次救急休日・夜間診療所事業特別会計予算執行状況表（令和6年5月31日現在）

（歳入）

（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率	徴収率
1 診療収入	12,000,000	22,411,302	22,411,302	0	186.8%	100.0%
2 分担金及び負担金	62,953,000	62,953,000	62,953,000	0	100.0%	100.0%
3 繰越金	16,012,000	16,012,443	16,012,443	0	100.0%	100.0%
4 諸収入	2,744,000	2,734,500	2,734,500	0	99.7%	100.0%
5 県支出金	1,620,000	431,000	431,000	0	26.6%	100.0%
合計	95,329,000	104,542,245	104,542,245	0	109.7%	100.0%

（歳出）

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
1 一次救急休日・夜間診療所費	95,329,000	91,152,703	4,176,297	95.6%
合計	95,329,000	91,152,703	4,176,297	95.6%

歳入歳出差引額	13,389,542
---------	------------

(3) 診療実績

令和5年度における診療実績は次表のとおりである。

令和5年度 診療科別患者数

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成割合	前年度実績	対前年度比率
内科	59	99	58	91	114	104	101	76	123	242	101	71	1,239	64.2%	1,049	118.1%
小児科	21	44	39	87	56	31	86	30	74	62	74	32	636	33.0%	458	138.9%
外科	5	8	2	3	7	5	6	3	6	9	1	0	55	2.8%	55	100.0%
合計	85	151	99	181	177	140	193	109	203	313	176	103	1,930	100.0%	1,562	123.6%

令和5年度 市町別患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成割合	前年度実績	対前年度比率
八幡浜市	53	97	63	121	107	101	109	71	107	197	109	78	1,213	62.8%	997	121.7%
伊方町	13	22	13	17	19	11	17	13	19	33	17	5	199	10.3%	134	148.5%
三瓶町	2	3	8	11	12	11	5	5	13	18	13	8	109	5.6%	104	104.8%
他西予市	3	8	2	4	4	2	9	8	11	5	8	3	67	3.5%	69	97.1%
大洲市	10	10	8	20	10	10	25	4	29	15	24	8	173	9.0%	129	134.1%
内子町	3	1	5	3	3	1	23	1	13	5	4	1	63	3.3%	40	157.5%
その他	1	10	0	5	22	4	5	7	11	40	1	0	106	5.5%	89	119.1%
合計	85	151	99	181	177	140	193	109	203	313	176	103	1,930	100.0%	1,562	123.6%

(4) 経理事務

経理事務については、予算整理票、調定簿、その他関係帳票を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

(5) 備品管理

備品を備品台帳と照合(摘出法)したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

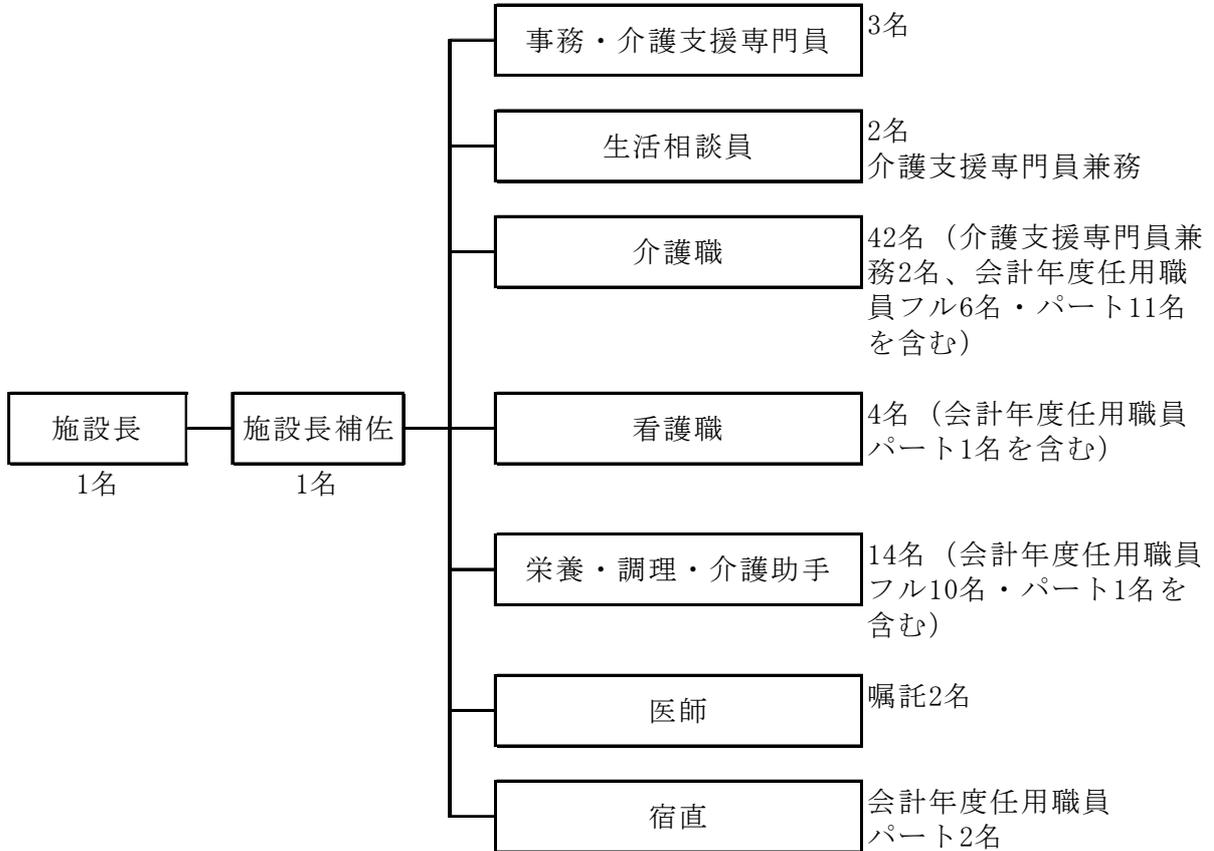
(6) 監査の結果

事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

特別養護老人ホーム事業特別会計
(特別養護老人ホーム青石寮)

(1) 職員の配置と事務分掌

令和6年8月1日現在における職員数は71名(会計年度任用職員フルタイム16名・パート15名、嘱託医師2名を含む)で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



(2) 予算の執行状況

令和5年度の特別養護老人ホーム事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額638,555,000円、歳入調定額632,890,208円、収入済額632,890,208円(執行率99.1%)となっている。支出済額は610,533,505円(執行率95.6%)であり、収支差引額は22,356,703円の黒字となっている。

支出の内容は、職員等の人件費320,474,001円(構成比52.5%)、その他運営費290,059,504円(構成比47.5%)である。

なお、各市町の負担割合は八幡浜市75.14%、伊方町17.76%、西予市(旧三瓶町)7.10%となっている。

令和5年度 特別養護老人ホーム事業特別会計予算執行状況表（令和6年5月31日現在）

（歳入）

（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率	徴収率
1 サービス収入	408,323,000	403,813,808	403,813,808	0	98.9%	100.0%
2 分担金及び負担金	84,800,000	84,800,000	84,800,000	0	100.0%	100.0%
3 県支出金	4,702,000	6,041,002	6,041,002	0	128.5%	100.0%
4 財産収入	9,000	9,899	9,899	0	110.0%	100.0%
5 寄附金	1,000	0	0	0	0.0%	—
6 繰入金	1,000	0	0	0	0.0%	—
7 繰越金	48,733,000	48,733,999	48,733,999	0	100.0%	100.0%
8 諸収入	7,086,000	4,591,500	4,591,500	0	64.8%	100.0%
9 組合債	84,900,000	84,900,000	84,900,000	0	100.0%	100.0%
合 計	638,555,000	632,890,208	632,890,208	0	99.1%	100.0%

（歳出）

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
1 サービス事業費	638,253,000	610,533,505	27,719,495	95.7%
うち人件費	327,254,000	320,474,001	6,779,999	97.9%
3 諸支出金	202,000	0	202,000	0.0%
4 予備費	100,000	0	100,000	0.0%
合 計	638,555,000	610,533,505	28,021,495	95.6%

歳入歳出差引額	22,356,703
---------	------------

(3) 利用者の状況

当施設の利用者は令和6年3月31日現在、老人福祉施設事業が定員110名に対して94名（男24名、女70名）である。

また、短期入所生活介護（ショートステイ）事業は老人福祉施設の空床を利用した事業であることから、令和5年度の利用は無かった。

(4) 業務実績

令和5年度においても、寝たきり防止に関する対策、機能訓練、地域交流・ボランティアの活用等の各種施設処遇の取組方針を策定し、適切に実践されていることを認めた。

(5) 経理事務

経理事務については、予算整理票、調定簿、経理簿その他関係帳票を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

(6) 備品管理

備品を備品台帳と照合(摘出法)したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

(7) 監査の結果

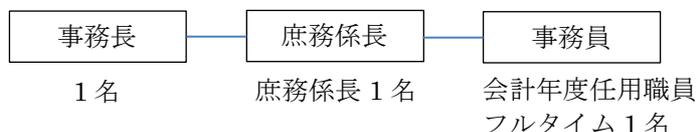
事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。

し尿処理事業特別会計

(し尿処理施設一楽園)

(1) 職員の配置と事務分掌

令和6年8月1日現在における職員数は事務長以下3名で、次表のように配置し所管事務を分掌している。



(2) 予算の執行状況

令和5年度のし尿処理事業特別会計予算の執行状況は、次表のとおり、予算現額185,840,000円、調定額、収納済額ともに185,862,779円(執行率100.0%)、支出済額174,493,157円(執行率93.9%)であって、収支差引額は11,369,622円の黒字となっている。

支出の内容は、維持補修費67,509,585円(構成比38.7%)、し尿処理施設管理委託料31,416,000円(構成比18.0%)、職員等の人件費3,074,703円(構成比1.8%)、その他運営費に72,492,869円(構成比41.5%)である。

なお、各市町の負担割合は、八幡浜市60%、伊方町40%となっている。

令和5年度 し尿処理事業特別会計予算執行状況表(令和6年5月31日現在)

(歳入)

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	執行率	徴収率
1 分担金及び負担金	173,766,000	173,766,000	173,766,000	0	100.0%	100.0%
2 使用料及び手数料	3,106,000	3,124,896	3,124,896	0	100.6%	100.0%
3 繰越金	8,638,000	8,638,744	8,638,744	0	100.0%	100.0%
4 諸収入	330,000	333,139	333,139	0	101.0%	100.0%
合 計	185,840,000	185,862,779	185,862,779	0	100.0%	100.0%

(歳出)

款	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
2 総務費	6,034,000	5,859,247	174,753	97.1%
3 衛生費	163,299,000	154,130,523	9,168,477	94.4%
4 土木費	15,507,000	14,503,387	1,003,613	93.5%
6 予備費	1,000,000	0	1,000,000	0.0%
合 計	185,840,000	174,493,157	11,346,843	93.9%

歳入歳出差引額	11,369,622
---------	------------

(3) 業務実績

当施設の1日処理能力は52.0kℓであり、令和5年度における稼働日数は242日である。また、各市町のし尿搬入実績は次表のとおりとなっている。

市町、全体の搬入台数は5,007.3台であり、対前年度比は301.8台(5.7%)の減少となった。これを量に換算すると搬入量9,013.1kℓとなり、対前年度比は543.3kℓ(5.7%)の減少である。

なお、収集運搬業者からは、搬入車両1台(1.8kℓ)あたり施設使用料として560円を徴収している。一方、搬入車両1台の処理にかかる電力及び燃料、薬品の費用は9,066円となっている。

し尿搬入割当及び実績比較

		令和5年度			令和4年度	増減
		八幡浜市	伊方町	合計	合計	合計
搬入割当台数		6,336台	4,224台	10,560台	10,320台	240台
搬入実績	搬入台数	3,020.8台	1,986.5台	5,007.3台	5,309.1台	△301.8台
	搬入量 (搬入台数×1.8kℓ)	5,437.4kℓ	3,575.7kℓ	9,013.1kℓ	9,556.4kℓ	△543.3kℓ
搬入率 (搬入台数/搬入割当台数)		47.7%	47.0%	47.4%	51.4%	△4.0%

(4) 経理事務

経理事務については、予算整理票、調定簿、その他関係帳票を検証したところ数字は証拠書類と一致しており、取り扱いに不都合は認められなかった。

(5) 備品管理

備品を備品台帳と照合(摘出法)したが、員数は一致しており保管に不都合は認められなかった。

(6) 監査の結果

事務は概ね適正かつ効率的に執行されているものと認められた。